岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 111

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教 科	農業	科 目	森林科学	単位数	2	学年・学科	3学年・E科
教科書	文部科学省著作教科書「森林科学」	副教材					

学習目標	○森林科学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにします。 ○森林科学に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 ○森林を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ共同的に取り組む態度を養います。
学習方法	○森林の分類について学びます。 ○樹木と光、水、土壌、生物等環境とのかかわりを学びます。 ○樹木の分類方法を学びます。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	森林の定義、森林の分類、樹木の携帯と構造、環境との関りについて理解している。樹木の識別ができる。
	b	思考・判断・表現	森林の構造と環境問題とのかかわりについて科学的、論理的に考えることができる。
	c	主体的に学習に取り組む態度	樹木をはじめとする森林の構造に対して興味関心を持ち、よく観察している。

		重み付け	考査	考査外
		100%	70%	30%
前期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
前期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
後期中間	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
		100%	70%	30%
後期末	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
	思考・判断・表現	30%	20%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%

学期	単 元 名 （ 題 材 ）	学 習 内 容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	第3章森林生態系の構造と多面的機能 (1)森林生態系の構造 (2)森林植生遷移と森林の発達段階 (3)森林の多面的機能	3章 (1)①生態系とは何か学習します。 ②森林生態系の特徴を学習します。 (2)①植物群落の遷移を学習します。 ②遷移と森林管理を学習します。 (3)①森林の多面的機能について学習します。 ②森林の多面的機能の発達と階層性を学習します。	○	○	○	a：森林生態系の構造と多面的機能について理解している。 b：森林生態系の構造と多面的機能に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決できる。 c：森林生態系の構造と多面的機能について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・考査結果 ・授業ノート ・授業態度 ・小テスト ・レポート提出
前期末	第4章　森林の機能と目標林型 (1)生態系サービスと森林の機能の発揮 (2)目標林型とゾーニング第5章　森林の施業技術や管理技術 (1)生産林の施業技術	4章 (1)①生態系ｻｰﾋﾞｽを学習します。 ②保安林と保護林を学習します。 (2)目標林型とゾーニングについて学習します。 5章 (1)①木材生産の更新技術について学習します。 ②初期保育技術について学習します。 ③樹冠管理技術について学習します。 ④木材生産の施業体系について学習します。	○	○	○	a：森林の機能と目標林型および施業技術や管理技術について理解している。 b：森林の機能と目標林型および施業技術や管理技術に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 c：森林の機能と目標林型および施業技術や管理技術について自ら学び、生態系の健全な管理にむけて主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・考査結果 ・授業ノート ・授業態度 ・小テスト ・レポート提出
後期中間	第5章　森林の施業技術や管理技術 (2)環境林の管理技術 (3)森林の健全性を維持するための管理技術 第6章木材の収穫 (1)作業システム	5章 (2)誘導法について学習します。 (3)①世界の森林破壊について②日本の森林破壊を学習します。 ③森林の健全性を維持するための基本的な考えを学習します。 6章 (1)①作業計画について学習します。 ②労働生産性と環境保全への配慮について学習します。	○	○	○	a：施業技術や管理技術および木材の収穫について知識と技術を理解している。 b：施業技術や管理技術および木材の収穫に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 c：施業技術や管理技術および木材の収穫について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・考査結果 ・授業ノート ・授業態度 ・小テスト ・レポート提出
後期末	第6章木材の収穫 （2）路網 （3）伐採・造材・集材 （4）労働安全 第7章森林の育成と活用の実践	6章 (2)①路網の意義と役割。②林道網計画と設計。③林道の施工と保守管理。④森林作業道計画と設計。⑤林道等の保守管理。 (3)①林木の伐採。②造材と集材。③木材の運搬。 (4)①林業における災害の発生状況。 ②安全管理の基本。 ③ﾁｪｰﾝｿｰの取扱と安全。 ④労働災害のない林業。 7章 育苗、森づくり、野生動物、森林活用について学習します。	○	○	○	a：木材の収穫および森林の育成活用について知識と技術を理解している。 b：木材の収穫および森林の育成活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 c：木材の収穫および森林の育成活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	・考査結果 ・授業ノート ・授業態度 ・小テスト ・レポート提出